



「福島ヒカリノ子どもオレンジ基金」を作り、私たちは新たな取り組みをはじめます

①準備：あなたは、3週間前までに希望する受診日と午前か午後のいずれかを選びます（時間は指定できません）。また受診する人数とそれぞれの住所・氏名・生年月日・性別を記した書面を準備します。

②連絡：あなたは、電話・メール・FAXのいずれかで、①を福島HP ジョイントチーム係木田拓雄に伝えます（連絡先は裏表紙にあり）。

③予約：ジョイントチーム木田が東神戸診療所に予約を入れ、受診日・時間を決定してもらいます。

④決定：③の決定内容を東神戸診療所発行の「問診票」（初診者には提出の義務あり）と一緒に、メールかFAXであなたに伝えます。

⑤受診日：受診する日と時間およびあなたの住所の関係で、宿泊は前泊か後泊になっても構いません（原則一泊二日。他に宿泊予定者がいなければ連泊可）。

⑥東神戸診療所：〒651-0078 神戸市中央区八雲通 6-2-4 所長 郷地秀夫先生 診療日 月～金（午前・午後）、土（午前のみ） 休診日（日祝）

申し込みから受診まで

年に2回のキャンプと、キャンプ参加者が全員受ける健康診断は、私たちの活動の2本柱です。これまで検診を受けた福島の子どもの数は、延べでおよそ100人。「放射能被ばくから子どもを守る」という目的で活動する私たちにとって、十分とは言えないものの、誇るべき数字だと思っています。子どもと共に参加したある保護者の言葉が忘れられません。「これで次の検診までの間、子どもの健康状態に心を痛めなくてもいい」と。私たちが福島の人たちに味わってほしいのは、この安心感と生きる喜びです。キャンプ参加者に限定したプログラムだったこの健康診断を、だれでも、いつでも受けられるような仕組みにしたい。このような私たちの願いが、新しい活動を生みました。

Q1 この基金を使った健康診断はどこで受けられますか？

A1 神戸市中央区の東神戸診療所（所長：郷地秀夫先生）です。



Q2 なぜそんな遠い所に決められたのですか？

A2 西日本は比較的汚染が少ない地域です。また、福島県では被ばくを懸念する人に冷たい目を向けがちなこともあり、雑音のない環境で静かに健康チェックをしてもらいたいと私たちは願っているのです。加えて所長の郷地先生は、広島・長崎の2000人を超える被爆者を診察してこられた、日本の被爆者医療の第一人者です。キャンプの参加者全員も、郷地先生のおられる東神戸診療所で、毎回健康診断を受けることになっています。このような経緯もあり、私たちはここを選んだのです。

Q4 医療費の負担はどうなっていますか？

A4 大人も子どもも、医療費は基本的に無料です。18歳未満の子どもは、福島県の「子ども医療費助成制度」を使います。福島県以外の地域からくる子どもは同様の助成制度があるならそれを活用し、制度のない地域の子どものと大人の医療費は「福島ヒカリノ子どもオレンジ基金」から出費しますので、大人も子どもも一切負担はありません。

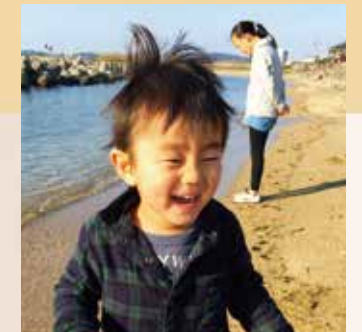
Q6 どんな利用を想定していますか？

A6 春休み・夏休み・冬休み・連休中の小旅行・帰省のついでの旅・音楽や演劇・美術館めぐりの前後の時間を使って、友達を訪問したついでなどです。



Q3 健康診断ではどのような検査をするのですか？

A3 心電図・血液検査・甲状腺のエコー検査をします。心電図では心臓の伝導障害の有無を調べ、血液検査は白血球の数と細胞内でDNAの修復やガンの抑制機能をもつP53遺伝子が正常かどうか診るようになっています。エコーで検査するのは、腫瘍の有無と大きさ、また橋本病（慢性的に甲状腺に障害がでる病気）に罹患していないかです。



Q5 他にはどのようなお金がかかりますか？

A5 一番安く健康診断を受けようと思われるなら、淡路島で行う一時保養キャンプに参加してください。参加費は大人1万円、子ども5千円。この中には、福島からの交通費（飛行機を利用）、4泊5日の宿泊代（ゲストハウス利用）と食費、健康診断受診料、イベント費用などすべて含まれています。新しく発足する「基金」は、キャンプ中の受診料の支払いにも使いますが、基本的にはキャンプにこられない人向けの支援サービスです。キャンプの理想に近づけるために、東神戸診療所での医療費の無料化のほかに、神戸到着後の域内の交通費、宿泊代と食費を無料にします（この場合、私たちのメンバーが淡路島に所有するログハウスを利用し、3食一緒に食事をする条件で無料です。ホテルでの宿泊や個人旅行は自己負担をお願いします）。将来「基金」が豊かになれば、現地からの交通費を、1家族1万円程度助成できればと考えています。

*この「基金」は、泉南市のオレンジコープ（泉南生活協同組合）さんの寄付に、他の多くの支援者の皆さまからいただいた寄付を加え誕生したものです。